



1 地元の案内人と共にまち歩きを行いました 2 大谷地公民館前 3 菅原恵一さんから話を聞く生徒たち 4 (有) アグリナインのトマト畑を見学 5 及川重夫さん(及川製材所)から話を聞く生徒たち 6 及川満郎さんからアスパラガス栽培の話を聞いた生徒たち

face 特別編

金ヶ崎中学校まちあるき学習

金ヶ崎中学校によるまちあるき学習が7月5日、町内各地で行われました。生徒たちが、自分たちの住む地域を目で見て、耳で聞いて、考えることで地域について主体的に学び、自分たちの将来や地域の未来を考えるきっかけとなることを目的に行われたまちあるき学習。中学校の「総合的な学習の時間」を使って行われました。

3年生143人が自分たちの地元を中心とした19班に分かれ、地域の案内人から歴史や産業などのさまざまな説明を受けながら地域を歩きました。生徒たちは、まちあるきのなかで気になる景色や建物などを写真で撮影し、地域の人たちにインタビューを行いながら情報を収集。また、案内人から地域内の危険箇所や過去の災害などについての説明も受けながら、自分たちの住む地域の魅力や現状、課題から、自分の将来や地域の未来の姿について考えました。

このうち、永岡地区では3つの班が、地域の農業者や農業法人、公民館や旧小学校跡地などを歩きました。参加した杉山成くんは「自分が住んでいる地域なので結構知っていると思っていたが、知らないところもあった。まだ他にも自分が知らないところがあるのかなと思った。昔、永岡地域だけに作られた会社があったことも分かった」と充実した表情を見せていました。

広報日記



6月は取材で千貫石森林公園内を歩きました。当日は気温が高く、熱中症対策を講じて臨みましたが、生い茂る木々が直射日光を防いでくれて、気持ちよく木々の観察や森林浴を楽しむことができました。町出身ですが、森林公園をしっかりと満喫したのは初めてでした。金ヶ崎は東西南北、春夏秋冬さまざまな景色や魅力を見せてくれると改めて感じました。(村口)

お詫びと訂正

広報かねがさき 6月号に誤りがありましたので、お詫びして次のとおり訂正します。

■訂正 22頁「Face」12行目
正 続けてこられたのは
誤 続けてこれたのは

人口と世帯		6月30日現在	
※()内は前月比			
人口	15,301人	(- 6)	
男	7,844人	(+ 4)	
女	7,457人	(- 10)	
世帯数	6,249世帯	(+ 5)	